



No.73 (2020.7)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

各記事にあるQRコードを読み込むことで、
各診療科および各部署のHPを開くことができます。
ぜひ、ご活用ください。



練馬病院 HP

コロナ診療特集

災害対策本部より

救急・集中治療科 野村智久

新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年4月7日に政府から発令された緊急事態宣言を受け、当院では4月8日に災害対策本部が設置されました。災害対策本部の目的は、感染対策本部と連携しながら新型コロナウイルスの感染対策を適切に行い、救急診療をはじめとした当院に求められる診療を継続することです。具体的には毎日のウェブ会議、スタッフや資機材の管理、外来や病棟の運用、関係各所との連絡、報告などの対応をしています。



今後も院内感染を起こさず診療を継続できるよう災害対策本部は活動してまいります。



対策本部の入り口



Web会議中の様子



練馬病院 HP
【救急・集中治療科】

外来診療

総合診療・性差科 福井早矢人

発熱外来は、専属チームを結成し順調に業務が遂行されています。専門科が独立しがちな大学病院ですが、当院では院長を中心に医師だけでなく、看護師さん、事務さんを含めた多職種全てが協力しています。コロナウイルスが日常化する困難な未来になってもコロナウイルスの診療のみならずそれ以外の救われるべき命をしっかりと救うことが我々の使命と考えています。今後の流行状況については先が読めない部分もありますが、しっかりと力を合わせてチーム医療で外来業務を遂行していきたいと思っております。



練馬病院 HP
【総合診療・性差科】

小児科

小児科 五十嵐成

コロナ診療において、小児は成人とくらべ患者数も重症例も少ないことは我々小児科医にとっては救いであります。感染例の多くは家族内感染であり、無症状～軽症が多く、死亡例は少ないです。欧米の報告にあるような川崎病の様な症状を伴う重症例の報告も本邦ではありません。一方で生活様式の変化に伴う精神的・肉体的・社会的被害への対応は増加しています。今後は乳幼児健診の延期による重大疾患の見落としや、予防接種控えに伴う麻疹などのワクチンで防ぎえる他の感染症の流行も危惧されています。私は小児科医としての“当たり前”を継続していきたいと考えています。



練馬病院 HP
【小児科】

コロナ診療特集

病棟より

救急・集中治療科 小松孝行

当院では新型コロナウイルス感染症治療のため、集中治療室を含め専用病棟を設けて動線をわけて入院診療を行いました。そして手洗いやマスク、あるいは三密を徹底的に防ぐことにより院内感染0を保っております。その間、患者様・御家族におかれましては、面会制限、手術や入院の延期についてご不便をおかけ致しましたが、御協力を頂きましたことに改めて御礼申し上げます。今後徐々に日常診療に戻る中でも、感染対策は同時に講じなければならない事をご理解いただき、引き続き御協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。



練馬病院 HP
【救急・集中治療科】

E R

救急・集中治療科 高見浩樹

救急外来では24時間365日体制で救急車対応と急患対応を行っております。3月に入り新型コロナウイルス感染症の発生報告が徐々に増えてくるにつれ発熱や呼吸困難症状を有する患者様が搬送困難になる事例が相次ぎましたが、当院では早期から発熱患者の動線の設定やスタッフの感染対策などの準備を行い、特に大きな混乱をきたすことなく患者様の受け入れを継続して参りました。またゴールデンウィーク中には1日の救急車搬送台数が過去最高を記録しました。本日もスタッフ一丸となって救急患者様の診療を行っております。



練馬病院 HP
【救急・集中治療科】

眼科外来がリニューアルして移転しました。

眼科 教授 横山利幸

5月の連休明けに眼科外来は1号館の会計の後ろ、Kブロックに移転いたしました。受付前の待合はやや狭いものの、1歩中に踏み入れると中待合、そして診察室そのものも広くなりました。車いすの移動も少し楽になったはず。大きな構造の変化はありませんが奥に局所注射や小手術などの処置ができるスペースを作り、検査室も広くなって新しい検査機器を置けるスペースもできましたので、今後はさらに精密な検査・治療を目指していきたいと思えます。今後とも練馬病院眼科をよろしくお願いいたします。



練馬病院 HP
【眼科】

専門・特殊外来の紹介

めまい専門外来

耳鼻咽喉・頭頸科 角田篤信

良性発作性頭位めまい

BPPV Benign Paroxysmal Positioning Vertigo

＊寝たり、起きたり、寝返りを打ったりすると激しいめまいが起きます。

＊めまいの原因で最も多い。

＊当科では全診療ユニットに赤外線診断装置を装備♪

＊眼球運動を拡大観察して正確な診断を行います。



良性発作性頭位めまいに対する理学療法とは?!

原因である浮遊耳石、付着耳石を特殊な方法で取り除き、めまいを治療します。

当科では豊富な経験を持つめまい専門医・耳鼻咽喉科専門医が診療にあたります。



練馬病院 HP
【耳鼻咽喉・頭頸科】

＊当科では3次元眼球運動解析装置（y-VOG[®]）が世界で初めて導入され、正確な診断・治療のために役立っています。

入院支援センター(かけはし)開設



2020年5月13日入院支援センターが開設となりました。当センターでは、入院申込と入院支援を申し込まれる患者さんを対象に、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、事務等の多職種の連携を通じて、安心・安全な入院生活を送ることができるように必要な支援を行っていきます。入院支援センターでは、院内や院外、地域との**かけはし**となり、住みなれた地域で自分らしく過ごせるように連携を図っていきたくと思っています。療養生活において心配なことや不安なことがありましたら、入院支援センター**(かけはし)**まで、いつでもお立ち寄りください。



<入院申し込み受付>

* 当日の入院・退院手続、退院会計手続については、従来どおり1号館2階医事課横入退院受付場所となります。



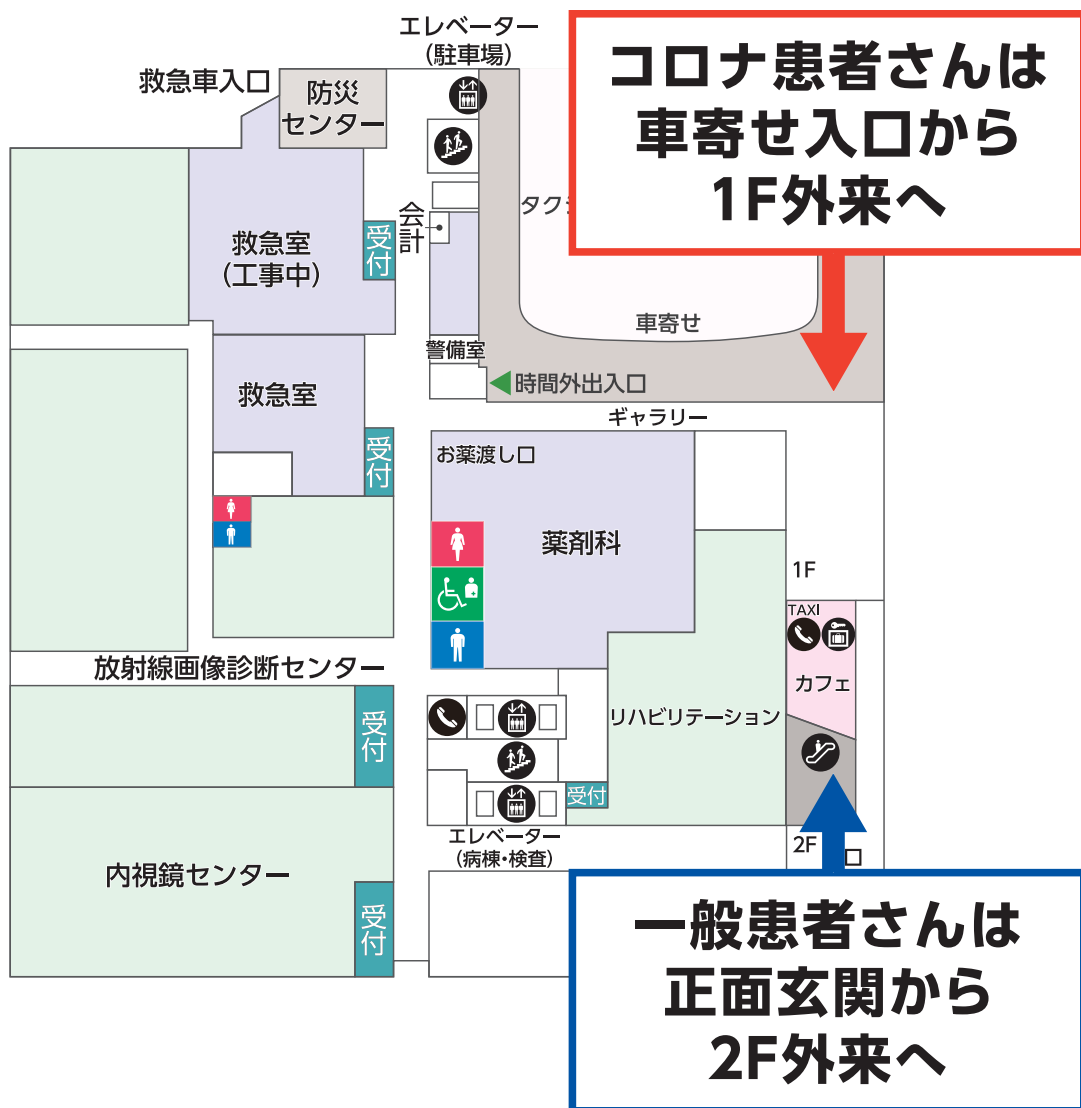
入院支援センター受付:かけはし



練馬病院 HP
【入院支援センター】

来院経路を別にしてございます 安心してご来院ください

1号館案内図 1F



137日連続 (6/26現在) **院内感染ゼロ** 継続中

